

自己評価結果表【タイプB】（児童養護施設おさひめチャイルドキャンプ）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	・明文化させているが、全職員への周知が行き届いていない。 ・建物建て替えに向けて新たな改善が必要。 ・支援に活かせるものの作成に向けている。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	・施設長を中心に行われている。 ・会議で報告されている。
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a	・取り組みはされているが、全職員での認識不足のところがある。 ・課題の報告はあるが、具体的な取り組みは現場との共有が図られていない面もある。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	・施設長を中心策定されている。 ・策定されているが、年に1回は会議で確認をした方がよい。
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	・施設長を中心策定されている。
(2) 事業計画が適切に策定されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	・見直しはされているが、全職員というところでは理解不足の面がある。 ・見直しをしているが、毎年のように負担となる職員が決まっている。
② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b	・年間予定やホームページ等で周知しているが、不十分。 ・生活面では説明するが、事業計画の説明は事後報告になってしまうこともある。 ・子どもへの周知については不十分である。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	・取り組みはされているが、機能としてはまだまだ改善の余地はある。 ・チーム会議を行い支援をしているが、組織的な部分では課題が残る。 ・組織的に行われ機能しているとは言えない。
② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	・取り組みはされているが、機能としてはまだまだ改善の余地がある。 ・不十分である。

Ⅱ 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	・全職員へ伝わりにくいところがある。
② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	・取り組みはされているが、職員理解は不十分。 ・出勤、時間外勤務の明確化されている。
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	・全職員へ伝わりにくいところがある。 ・チーム間の協働性、負担感への配慮、現場の声が届きにくく反映されにくい。 ・多忙でも必要に応じ子どもたちと向き合ってくれている。
② 13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	・施設長の考えや取り組みが全職員の共通理解となることが不十分。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	・全職員へ伝わりにくいところがある。 ・育成計画は必要と思う。 ・採用後は現場任せな面がある。
② 15 総合的な人事管理が行われている。	b	・取り組みはされているが、職員理解は不十分ところがある。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	・年休等休みを取りやすいように配慮されている。 ・希望休等配慮してもらえるが、勤務外労働は職員によって負担の差が大きい。 ・希望に応じた勤務表の作成、勤務配置等出来る範囲で取り組まれている。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	・個別の取り組みとまではなっていない。 ・個別面談では意見や意向を聞くことが中心のため。
② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	・新任職員の育成にもっと力を入れた方がよい。 ・研修へは積極的に参加できる。
③ 19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a	・研修へは積極的に参加できる。 ・費用面等で全職員の希望には添えない面がある。
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	・マニュアルが不十分。 ・担当職員が対応しているが研修までには参加できていない。 ・年々改善されているが専門職の育成という点では改善の余地がある。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	・ホームページにて公開している。
② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	・行事へ積極的参加をしている。
② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	・職員の理解不足などがある。 ・受入はしているが規程を新たに作成する必要がある。 ・明確ではない。
(2) 関係機関との連携が確保されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	・要保護児童対策地域協議会等へ参加している。
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	・当該地区の委員会へ所属し会議へ参加している。
② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	・子育て短期支援事業委託を受けショートステイ等を受け入れている。

III 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	・全職員での意思統一、共通理解が乏しい。 ・CAP、性教育の実施。児童からの聞き取り内容の提示をしている。
② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b	・施設内での対応が不十分である。
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b	・ケースによって違いが大きい。 ・支援会議、面接を実施しているが、児童相談所によって対応の差がある。
② 31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b	・ケースによって違いが大きい。 ・支援会議、面接を実施しているが、児童相談所によって対応の差がある。
③ 32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b	・支援会議、面接を実施しているが、児童相談所によって対応の差がある。 ・入所時、関係機関との連携は取れている。
(3) 子どもの満足の向上に努めている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	・個別面談や意見ポスト等の取り組みを行っているが十分とは言えない。 ・向上をめざすため日々情報共有を行っているが満足度ははかれない。
(4) 子どもが意見を述べやすい体制が確保されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	・意見ポスト等の利用にて職員会での周知対応を図っている。 ・意見箱の設置や聞き取りを実施している。 ・職員からの意見、苦情について改善していない面がある。
② 35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a	・意見ポスト等の利用にて職員会での周知対応を図っている。 ・すべての子どもには対応できていない。 ・意見ポストを活用している。
③ 36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	・意見ポスト等の利用にて職員会での周知対応を図っている。 ・チーム対応の差がでたり迅速ではない時がある。より強力が必要。
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	・マニュアルは出来ているが、全職員への周知、理解が不十分。 ・居室の移動等その時々に対応しているが、本体施設的环境下では困難。
② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	・職員会での感染症対策委員会を実施している。 ・隔離部屋はある。
③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a	・避難訓練の実施。 ・救命講習の実施。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b	・各自に任せられており、職員によってバラつきがある。
② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	・どのマニュアルをさすのか分からない。
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a	・年度当初に計画を策定し周知している。 ・児相と連携し策定出来ている。
② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a	・見直しは出来ていても改善点をもっと日常に反映された方が良い。
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	・状況報告書への記入、口頭での情報共有等を行っているが、心理との共有が難しい。
② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	・未だに手書きのシステム。ロッカーの未施錠等管理の危機感の希薄がある。

内容評価基準（25項目）A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	・CAP等での振返りが必要。 ・CAPでの意識向上。
(2) 権利について理解を促す取組	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	b	・日常的にはなっておらず、不十分な面がある。 ・CAPの実施。チェックリストの実施をしている。 ・CAPを実施しているが、それ以外は十分とは言えない。
(3) 生い立ちを振り返る取組	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	c	・子どもによって個人差がある。 ・不十分。心理との協力が図れていない。 ・個々の対応となっており、全体としては十分ではない。
(4) 被措置児童等虐待の防止等	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a	・チェックリストを活用している。 ・チェックリスト、面接の実施をしているが、不適切な関わりになる前の職員の育成が不十分。
(5) 子どもの意向や主体性への配慮	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	b	・子ども自身やられている感が伝わってくる場所があり、職員間の意識差もある。 ・子どもの意見を尊重しつつ支援しているが、本体施設での環境では困難。快適な生活への意識が持てているか。
(6) 支援の継続性とアフターケア	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A6 子どもがそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	b	・自立訓練への個人差があり、アフターケアの支援体制が不十分。
② A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	b	・自立訓練への個人差があり、アフターケアの支援体制が不十分。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。	b	・取り組もうとしているが1人1人に対応しきれていないところがある。 ・セカンドステップを実施している。 ・努力はしているがバラつきがある。
② A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	a	・取り組もうとしているが1人1人に対応しきれていないところがある。 ・勤務人数で支援が左右されている。
③ A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	b	・取り組もうとしているが、1人1人に対応しきれていないところがある。 ・職員の対応の差がある。
④ A11 発達状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	b	・取り組もうとしているが、1人1人に対応しきれていないところがある。 ・学習ボランティア、学習塾の利用。グループワークを実施している。 ・ハード面の限界も来ており十分ではない。
⑤ A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	b	・取り組もうとしているが、1人1人に対応しきれていないところがある。 ・もっと計画的にすすめられるようにした方がよい。
(2) 食生活	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	b	・子どもの要望にそえないことも多い。 ・誕生日メニューは楽しみにしている。嗜好調査の反映が不十分。
(3) 衣生活	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	b	・衣替えの支援が不十分。寒暖差のコントロールができない。 ・子どもと一緒に買い物ができる。
(4) 住生活	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	b	・部屋数も足りておらず、トイレなどの清掃も不十分。 ・特性のある子どもへの対応は難しい。破損部分がある。 ・改善の余地あり。
(5) 健康と安全	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a	・それぞれに応じた医療対応をしている。
(6) 性に関する教育	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A17 子どもの年齢・発達状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b	・CAPや個別面談の活用。 ・性教育、チェックリストの活用 ・外部講師による講習含めて機会は設定しているが十分とは言えない。
(7) 行動上の問題及び問題状況への対応	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	b	・対応はしているが、しきれていない場面がある。 ・聞き取りや必要に応じチーム会議や謝罪、施設長からの振り返り、医療機関との連携、児相への報告
② A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a	・「みんなの約束」（子ども職員間で話し合ったルール）の活用。 ・子どもたちの相関図を作り力関係を把握している。
(8) 心理的ケア	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b	・計画的に実施しているが、職員に支援内容が伝わりにくい。 ・心理的な支援の内容が職員にもっと把握できるとよい。
(9) 学習・進学支援、進路支援等	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b	・学校との連携、学習ボランティア、学習塾の利用。 ・学習ボランティアを利用しているが、もっと連携を深める必要がある。 ・現状の施設ではハード面で限界がある。
② A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b	・学校との連携、学習ボランティア、学習塾の利用。 ・時に児相を含め対応している。
③ A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a	・必要に応じて支援している。
(10) 施設と家族との信頼関係づくり	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b	・家族支援専門相談員の役割が不十分。 ・各担当対応。
(11) 親子関係の再構築支援	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b	・子ども、家庭によって差がある。